

上市で休んでかれ

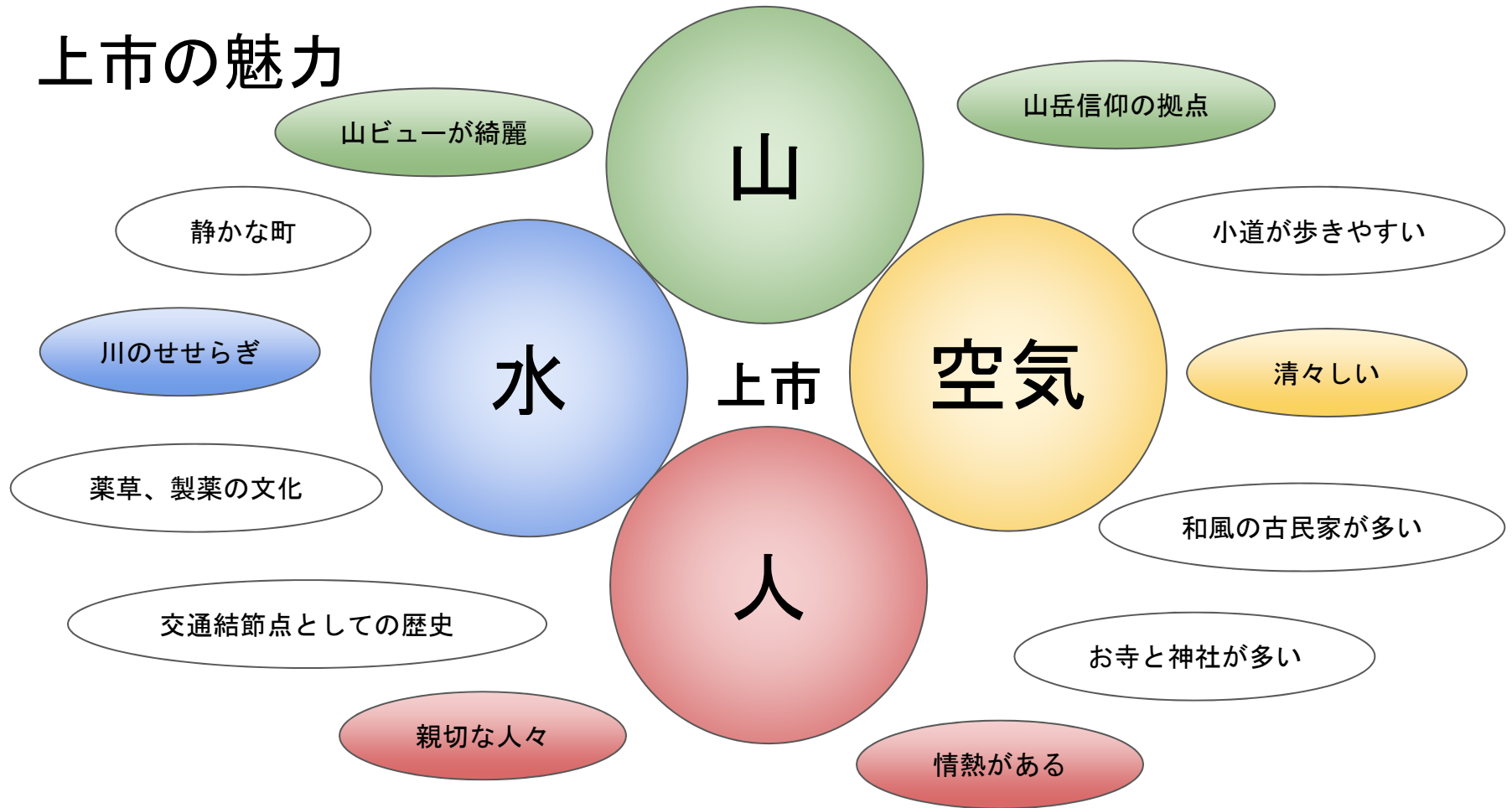
東京大学大学院 国際都市計画・地域計画研究室

河端 (中国) 田 翰 (中国) 小原 寛士 (日本) Moe Moe Aung (ミャンマー)





上市の魅力



提案で想定する来訪者のイメージ

来訪者像

- 子どもや高齢者のいない1~3人の外国人グループ
- 訪日が3回目以上のリピーター
- 一週間から十日程度周遊観光をする人

目的

- 観光客向けではないような日本の生活を体験してみたい
- 景色が綺麗なところでゆっくりしたい
- 静かなところで旅の疲れを取りたい



来訪者にアピールする滞在のコンセプト

「上市で休んでかれ」

休んでかれ...富山弁「休んで行きませんか？」来訪者へのおもてなしの言葉

黒部宇奈月温泉、滑川、富山、立山連峰の中間点、旅の途中で上市に立ち寄り、一服してほしい

特殊な体験とかができるではなく、町の生活を一緒に体験させることで、感動を！

上市に立ち寄った人に、町中の生活を体験されることで、上市が本当に好きになるような人を増やせば、移住者の増加にもつながる



不足していると思ったもの

1. 休める場所が少ない
2. 町の人々の生活が感じにくい

提案

1. まちなか散歩
2. まち周辺サイクリング

提案1：まちなか散歩で休んでかれ

まちなか散歩に適した資源がある（様々な形態の建築）

寺社、伝統的な家屋や店舗、個性的な料亭建築、製薬関係の近代的な洋風建築...

こうしたまちなみ資源の掘り起こしを進めるとともに、まちなか散歩の核となるスポット（交流スペース付きのドミトリー、カフェ等）をリノベーションによって整備

→何気なく歩いていても上質な体験ができるまちなかにしていく



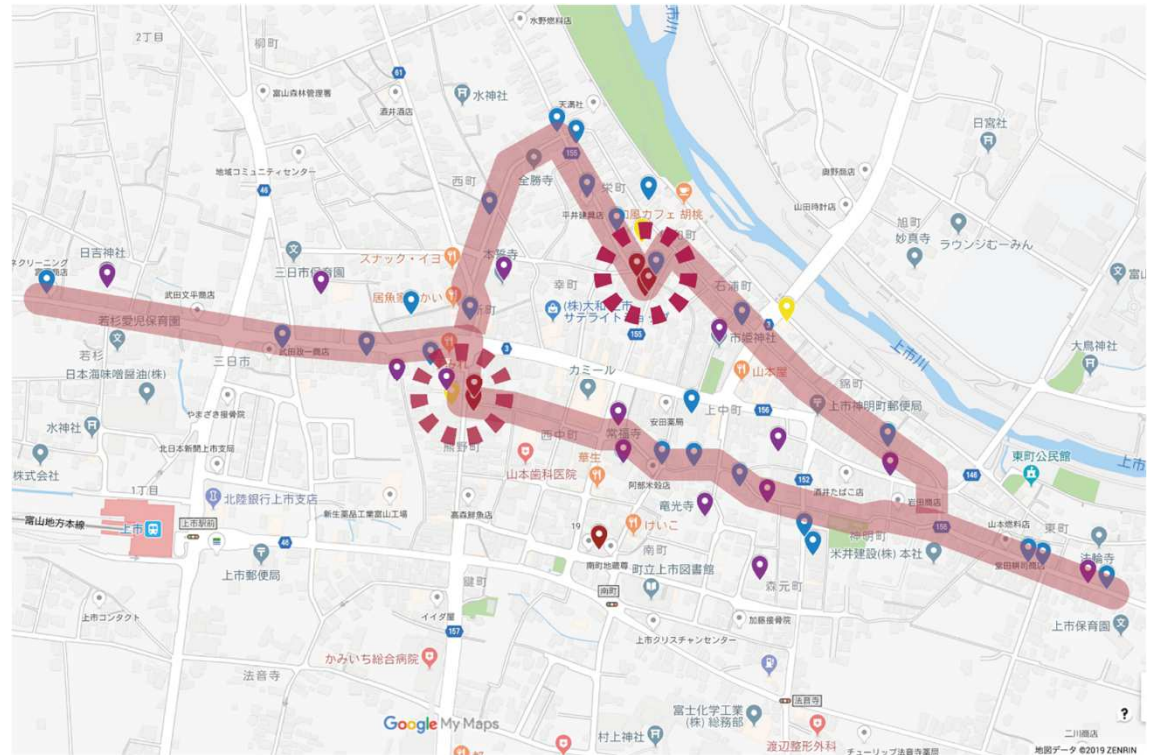
1-1：まちなみ資源の掘り起こし

伝統的・特徴的な建築が拡幅されていない裏通りに多数存在

「**上市まちなみ景観建築**」として認定し、まちなか散歩のルートとして設定・整備

認定によって町役場と不動産オーナーのつながりを強化し、将来の遊休化に備える

図：まちなみ資源の分布イメージ
紫＝寺社、青＝伝統的な家屋・店舗
黄＝料亭、赤＝（擬）洋風の近代建築



1-2：リノベーションのスキーム

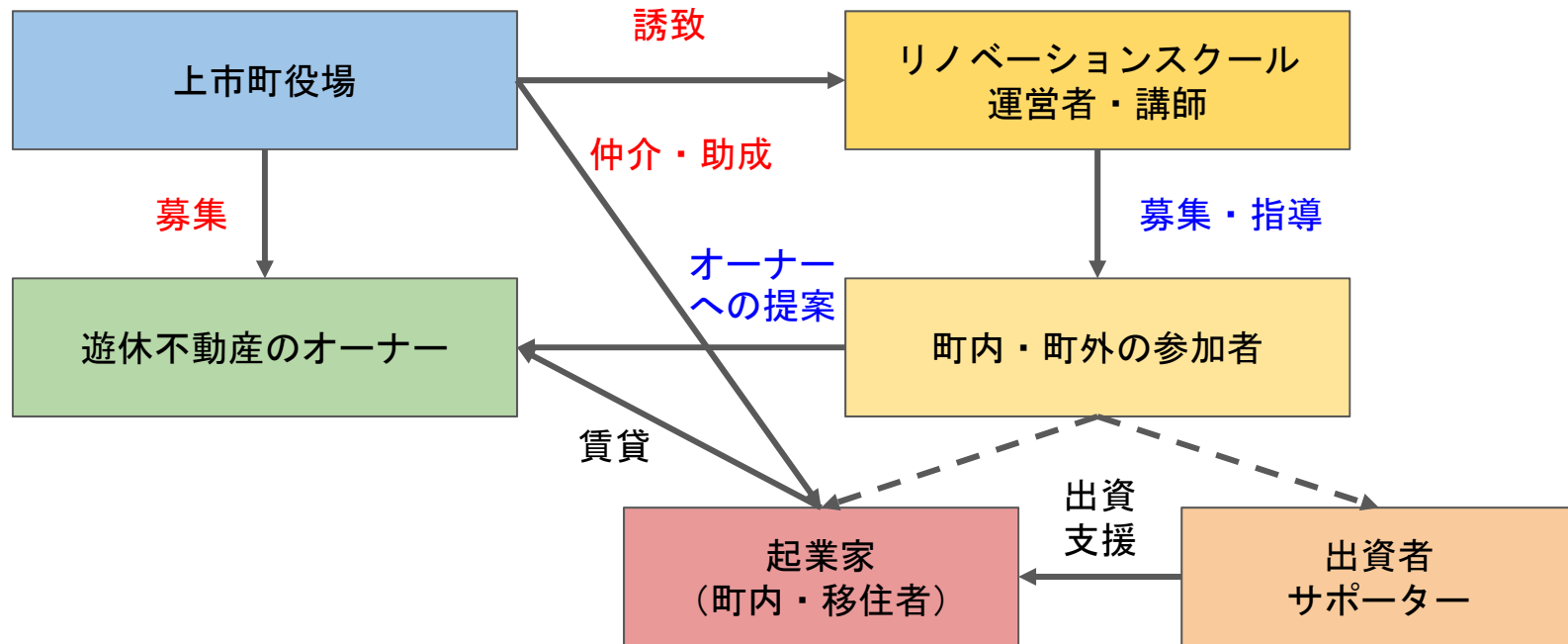
リノベーションスクール

建築士やビジネスオーナーを講師として、リノベーションや起業に興味を持つ様々な属性の参加者がリノベーションまちづくりを実践的に学ぶ

3日程度の短期集中型で、実在する遊休不動産を対象にデザインだけでなく事業計画までプランニングしてオーナーに提案

参加者がそのまま起業する事例も存在

1-2 : リノベーションのスキーム



1-3 : 核となるスポット整備のイメージ



1-4：長期的なまちなみの再生

トタン板の外壁によって歴史的・特徴的な資源の存在がわかりづらくなっている

デザインガイドラインを制定することで、伝統的で統一感のあるまちなみを少しずつ再生していく

図：トタン板によって伝統的な家屋が覆われている（上）
トタン板の外壁でも、歴史性を重視したデザインにすることで統一感のあるまちなみを再生できる（下）



提案2：サイクリングで休んでかれ

なだらかな地形、山、川、海の自然を同時に感じられる景観

→外国人がのんびりとサイクリングを楽しむ場所としてポテンシャルがある



2-1：サイクルオアシスの充実

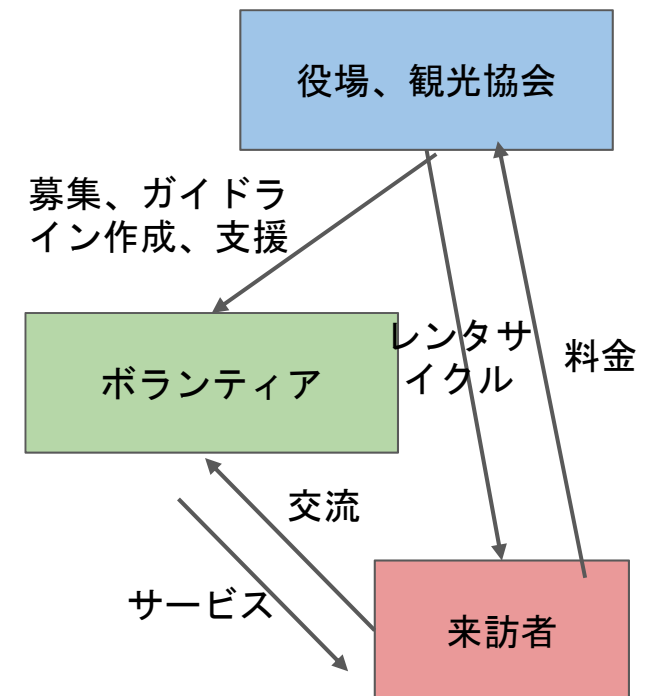
サイクリングには休憩所が必要

→郊外の道路沿いで、都合の良い時に家や庭を休憩所（サイクルオアシス）として貸してくれるボランティアを募集

来訪者は休憩するだけでなく、地元の人との交流を楽しむことができる

ボランティアの負担軽減のため、迎えるときのサービスのガイドラインを作成、観光協会などが備品などを支援

スマホアプリで直前に訪問通知ができる仕組みを整備し、ボランティア・来訪者双方の安心につなげる



2-2：フォトスポットの整備

サイクリング中にSNSで使う写真を撮りたいという需要が多い

→ 剣岳が美しく見える場所に、自撮り用にカメラ台を備えたフォトスポットを設置

例えば： 剣ビューレイルサイドライン沿いの農地（下図）を借りて平らな場所を整備



2-3：レンタサイクルの多様な需要への対応

現在のレンタサイクルは一律1日500円で、多様な需要への対応は難しい

→レンタサイクルをより使いやすく

例えば：南砺市の事例を参考に

- ・公共交通での来訪者や町内宿泊者に対する割引
- ・時間を区切り、短時間なら安価で利用できるようにする
- ・電動アシスト自転車の導入

外国人の声

今回の滞在で外国人留学生に聞いた「ちょっと不便だったな...」というところ

・店舗と民家の見分けがつきにくい

→メニューを掲示する、店の様子がある程度外から見えるようにする

・休める場所や飲食店がネット上で見つけづらい

→グーグルマップなどのサービスにまちなかの店舗を登録

・銭湯にシャンプー等がない（ということを知る機会がない）

→ゲストハウスでの周知・アメニティグッズの設置、各施設の設備の有無を明記（アメニティ類、ドライヤー、洋式トイレなど）

・バス車内で両替ができない

→両替対応、駅で乗車券を買えるように